

第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in とち

思いをつなげる まちづくり ~とどけます この十勝から~

2018.9.15(土)
~9.16(日)

会場:帯広市民文化ホール
とかちプラザ

〒080-0015帯広市西5条南11丁目48番地 TEL(0155)23-8111
〒080-0000帯広市西4条南13丁目1番地 TEL(0155)22-7890

演題募集期間	2018年3月1日~5月31日
事前参加申込期間	2018年5月1日~7月31日
大会ホームページ	http://k-cav.com/jshh25_tokachi/

日本ホスピス・在宅ケア研究会 とち大会実行委員会TEL(0155)48-8000 FAX(0155)47-3083

思いをつなぐ

講師: 柏木 哲夫 氏
(淀川キリスト教病院 理事長)



特別講演 基調講演 市民公開講座

大人が絵本に 涙するとき ~生きるいのちの泉~

講師: 柳田 邦男 氏
(ノンフィクション作家)



その他
シンポジウム
ワークショップ
自己啓発プロ
ラムなど多数。
お楽しみに!!

いのちに寄り添う・ いのちを看取る

講師: 石垣 靖子 氏
(北海道医療大学名誉教授)



悲しみを 生き抜く力

講師: 高木 慶子 氏
(上智大学グリーンケア研究所
特任所長)



名誉大会長: 鎌田 一 社会医療法人 北斗 理事長
大会長: 蘆野 吉和 社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター長
大会副会長: 小林 光樹 公益財団法人 北海道医療団 理事長

大会副会長: 本田つき子 社会医療法人 北斗 北斗病院副院長
実行委員長: 鈴木 智子 社会医療法人 北斗 副看護部長
齊藤 寿大 社会医療法人 北斗 医療相談室主任

第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in どちら

- 大会プログラム(2018111日現在)
- 開会式 9/15 大ホール 9:20 - 9:30
- 大会長講演 蘆野吉和氏 「地域で看取るまちづくり」

●特別講演

- ①石垣靖子氏 「いのちに寄り添う・いのちを看取る」
- ②堀田聡子氏 「思いやりの深いコミュニティ」(仮題)
- ③高木慶子氏 「悲しみを生き抜く力」
- ④柏木哲夫氏 「思いをつなぐ」

●基調講演



- ①飯島勝矢氏
(東京大学高齢社会総合研究機構 教授)
「人生最期の時までおいしく食べる」



- ②長尾和宏氏
(医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長)
「認知症でも地域で穏やかに暮らす」



- ③武田俊彦氏(厚生労働省 医政局局長)
「まちづくりとしての地域包括ケアシステム」

●市民公開講座



- ①特別講演 柳田邦男氏
「大人が絵本に涙するとき～生きるいのちの泉～」
- ②対談「病院で死ぬのはもったいない
～(いのち)を受けとめる新しいまちづくり～」
山崎 章郎氏(ケアタウン小平クリニック院長)・
二ノ坂保喜氏(医療法人にのさかクリニック理事長)

●安心地域劇

輝いて生きる ～三途の川で出会った3人の身の上話。
あなたの最期 どうだった? 劇団「てんむす」(十勝連携の会)

●シンポジウム

- ▶S1 「家に帰りたい」という思いをつなげる かなえる
(指定)【話題提供】宇都宮宏子氏
(在宅ケア移行支援研究所宇都宮オフィス代表)
- ▶S2 多様な療養の場で、いのちに寄り添う (指定)
【シンポジスト】下河原忠道氏(㈱シルバーウッド代表取締役)
／加藤忠相氏(株式会社あおいけあ代表取締役)
／大原裕介氏(社会福祉法人ゆうゆう理事長、北海道医療大学
客員教授NPO法人全国地域生活支援ネットワーク代表理事)
／市原美穂氏(一般社団法人 全国ホームホスピス協会理事長)
「とも暮らし」という暮らし方と近き方
- ▶S3 生活・人生を支える在宅医療の現状と課題 (指定)
- ▶S4 薬局はまちづくりの一つの拠点
～地域包括ケアシステムにおける薬局の役割～(指定)
- ▶S5 認知症でも安心して暮らせるまちづくり
『「十勝の認知症初期集中支援」～成り立ち、現状、課題～』
(指定)
- ▶S6 訪問看護師はまちづくりの要～地域における訪問看護
ネットワークの充実に向けて～(指定)
【話題提供】秋山正子氏(㈱ケアーズ・白十字訪問看護
ステーション代表取締役所長、マギーズ東京代表理事)

●ワークショップ

- WS1 (1)(2) 地域で看取れる まちづくり(公募:一部指定)
- WS2 人生最後の時までおいしく食べることにこだわりませんか(指定)
- WS3 独居でも最期まで地域に暮らせる地域づくり(公募)
- WS4 エンド・オブ・ライフケア(人生の最終段階のケア)における
リハビリテーションの意義(指定)
- WS5 医療と介護の情報共有は連携の要～ICTによる効果的な情報共
有のしくみを考える～ (公募)
- WS6 人生の最終段階における宗教者の役割 (公募)
- WS7 「畳の上で死にたい」をかなえるケアマネジメント (指定)



●自己啓発プログラム(聴講型セミナー)

- ①大下 大圓氏「スピリチュアルケア」
- ②桶田 昌平氏「精神疾患の在宅ケア(ACT)」
- ③谷山 洋三氏「臨床宗教師の可能性」
- ④紅谷 浩之氏「オレンジキッズケアラボ」
- ⑤谷田 憲俊氏「看取りと文化、看取りの文化」
- ⑥土島 智幸氏「医療的ケア児とともに生きる」
- ⑦二ノ坂保喜氏「コミュニティケア」
～世界の潮流と福岡での取り組み～(仮題)
- ⑧山崎 章郎氏「コミュニティケア」
～ケアタウン小平での取り組み～(仮題)

●自己啓発プログラム(ワークショップ等参加型セミナー)

- プレイベント 9月14日(金) 16:00～19:00 事前申込み(有料:3,000円)
- ①ディグニティセラピーワークショップ……………講師:船越政江氏
 - ②臨床瞑想教室……………講師:大下大圓氏
 - ③臨床倫理セミナー(入門コース)……………担当:清水哲郎氏
 - ④リンパ浮腫治療セミナー(講演と実技講習)
……………講師:阿部聡氏・新井恒紀氏
 - ⑤医療・介護に携わる人たちのためのメンタルヘルス
(ケアする人のケア)……………担当:松田良信氏・岡山幸子氏
 - ⑥頭の休息法のセルフケア(チャンピサージ)
……………担当:こころ からだ いのち いろは

■自己啓発プログラム(ワークショップ等参加型セミナー) 会期中 (9月15日16日)学会参加者無料

- ①リンパ浮腫治療セミナー(講演と実技講習)
- ②メイクセミナー
【講演】山崎多賀子氏(美容ジャーナリスト、NPO法人認定乳がん体
験者コーディネーター、NPOキャンサーリボンズ理事)
- ③私らしい死に方、生き方とは(入棺体験後のワークショップ)
- ④わたしの想いをつなぐノートの書き方(エンディングノート)

●体験コーナー 予定

- ①入棺体験 ②リンパ浮腫徒手マッサージ ③ケアする人のケア(チャン
ピサージ・KITAサウンドヒーリング) ④心と体に寄り添う手あて(セラピ
ューティック・ケア) ⑤マシュマロタッチのハンドマッサージ ⑥外見変
化にともなう美容ケアの提案

●日本ホスピス在宅ケア研究会部会企画

市民部会企画・コミュニティケア部会企画・スピリチュアルケア部会企
画・グリーフケア部会企画・こども共育部会企画

演題募集要項 受付期間(一般演題、公募演題)

2018年3月1日(日)午前9時～5月31日(木)午後9時

*締切日 2018年5月31日(木)は厳守してください。

■発表資格

・演題発表は会員・非会員いずれも可能です。・特に発表資格を設けていませんので、専門職以外の方の発表も歓迎します。

■応募にあたっての注意事項

・発表者の責任において、発表・記述に個人のプライバシーを侵害する内容、個人が特定できる内容、倫理的配慮が欠ける内容等がないようにしてください。なお、実行委員会の査読委員会で問題があるとの指摘がある場合には、内容を訂正してもらうことでもありますのでご注意ください。

■応募方法

・抄録とホームページに掲載している応募書類(資料1)を事務局のメールアドレスにお送りください。抄録はワード(Word)で作成し、下記の要領でB5判1枚以内に収めてください。図表を入れる場合も同様です。
・演題は最大2行で収まるようにしてください。
・発表者は最大6名まで、所属は最大5施設までにして下さい(発表者および所属施設の記載が最大4行で収まるようにして下さい。なお、部長、教授、院長等肩書は省略して下さい。)

■発表方法

1)公募演題(ワークショップ)

公募演題はそれぞれ企画で4-5名(ワークショップ1は約10名)を公募します。公募された演題から担当する座長が選出します。なお、ワークショップに採用されなかった演題は、原則として一般演題として採用させていただきます。

- ①ワークショップ1 地域で看取れる まちづくり
【話題提供者】公募 約10名
- ②ワークショップ3 独居でも最期まで地域に暮らせる地域づくり
【話題提供者】公募 4-5名
- ③ワークショップ5 医療と介護の情報共有は連携の要～ICTによる効果的な情報共有のしくみを考える～
【話題提供者】公募 4～5名
- ④ワークショップ6 人生の最終段階における宗教者の役割
【話題提供者】公募 4～5名

●採否通知

演題申し込み後、すみやかに査読を行い、採否を決定します。採用が決まり次第、発表日時および時間、発表方法について事務局から連絡します。なお、査読では、誤字脱字、不適切な表現がないかどうかチェックしますので、採否決定以前に内容についての問い合わせを行う場合もありますので、ご了解ください。また、記載内容の変更等ご協力をお願いします。

●発表方法

1)公募演題発表

発表の時間については、後日、事務局からお知らせします。公募演題として採用にならなかった場合には、基本的に一般演題として採用させていただきます。なお、この場合、内容によってポスター発表と口演発表に選別させていただく可能性がありますのでご了承ください。採否が決まり次第連絡し相談させていただきます。

2)一般演題発表

すべてポスター発表になります。発表日時、発表の形式については採用が決まり次第事務局から連絡いたします。また、発表の形式については、ホームページに掲載いたしますので確認してください。

■タイトル・所属お名前・共同発表者の書き方

・タイトル: ○○○○○(空白5文字)
演題名(MS明朝体 11ポイント)
・サブタイトル:(1行空白 10ポイント)
筆頭発表者 氏名(所属) (MS明朝体 10ポイント)
共同発表者 1)氏名 2)氏名 3).....
(MS明朝体 10ポイント)
1)所属 2)所属 3)所属.....
(MS明朝体 10ポイント)
(1行空白 9ポイント)
○○.....本文(MS明朝体 9ポイント)
行間固定 16ポイント おおよそ1100字から1350字
B5 1ページ以内 余白 上下20mm 左右 20mm)

2)一般演題

・一般演題は原則してポスター発表とさせていただきますが、会場の都合で一部口演発表に回っていただくこともあります。ご了承ください。なお、この場合には事前に連絡いたします。
・一般演題の抄録本文の作成においては、できる限り、研究報告の場合には「目的、方法、結果、結語」、事例報告の場合には「はじめに、事例紹介、経過、(結果)、考察、おわりに(結語)」、取り組みの場合には「はじめに、取り組みの紹介、経過、(結果)、考察、おわりに(結語)」の順に記載してください。
・用語の明らかな間違い、明らかな誤字脱字などは大会事務局で校正させていただきます。
・年号の表記は西暦で入力してください。

【テーマ分類】

Aケアの対象	Bケアの内容	Cケアの提供者
A1 がん疾患 A2 慢性疾患 A3 神経難病 A4 精神疾患 A5 小児・重症心身障がいの A6 独居・老々世帯 A7 高齢者 A8 その他	B1 包括的ケア B2 身体的ケア(症状緩和) B3 心理的ケア B4 社会的ケア B5 スピリチュアルケア B6 グリーフケア B7 家族ケア B8 その他	C1 医療従事者 C2 ケアマネージャー C3 介護従事者 C4 地域ボランティア C5 多職種協働 C6 宗教家・臨床宗教師 C7 教育・研修 C8 その他
Dコミュニケーション	E看取り	F地域包括ケアシステム
D1 情報共有 D2 意思決定支援 D3 事前指定(ACT) D4 医療介護の情報共有 D5 教育・研修 D6 その他	E1 自宅・居宅での看取り E2 施設での看取り E3 有床診療所での看取り E4 療養病床での看取り E5 地域での看取り体制 E6 地域文化・まちづくり E7 その他	F1 医療介護連携事業 F2 医師会の取り組み F3 市町村の取り組み F4 病院の取り組み F5 地域住民の取り組み F6 地域共生社会・まちづくり F7 その他
G認知症	H地域医療連携	I食支援
G1 初期集中支援 G2 認知症カフェ G3 地域での見守り体制 G4 家族の支援 G5 看取り G6 教育・研修・啓発 G7 その他	H1 退院支援 H2 外来での地域移行支援 H3 かかりつけ医 H4 かかりつけ歯科医 H5 かかりつけ薬剤師(薬局) H6 健康サポート薬局 H7 その他	I1 多職種協働・地域連携 I2 訪問歯科 I3 訪問リハ I4 訪問栄養指導 I5 栄養ケアステーション I6 配食サービス I7 その他
J被災者支援	K成年後見人制度	Lその他
J1 活動報告 J2 支援体制 J3 その他	K1 現状での問題点・課題 K2 その他	

【年次大会参加申し込みについて】

事前申し込みの方法は下記の2方法のどちらかをお願いいたします。当日は大変な混雑が予想されますので、円滑な大会運営のため事前申し込みにご協力をお願いいたします。

①WEB申込み(推奨)…大会ホームページよりお申し込みください。

第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会

http://k-cav.com/jshh25_tokachi/

▼支払方法(手数料は各自ご負担ください)

- 1) 銀行口座への振込み、
- 2) WEB上でのクレジットカード決済、
- 3) 主要コンビニエンスストアでの支払い

②FAXでの申し込み…別紙申込書(同封の大会チラシ裏面)に記入のうえお申し込み下さい。

▼支払方法(手数料は各自ご負担下さい)

同封の振込用紙にて郵便口座への入金をお願いいたします。

郵便振替口座: 名義: 第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会

※両方法とも、ご入金をもって登録完了となります。返金はできません。

【問い合わせ先】

●大会運営・プログラム、演題に関すること
 第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会事務局
 社会医療法人 北斗 北斗病院
 〒080-0833 帯広市稲田町基線7番地5
 TEL: 0155-48-8000 FAX: 0155-47-3083
 E-mail: 25_hospice_secretariat@hokuto7.or.jp
 担当: 齊藤(医療相談室)・金森(地域医療連携課)

●参加申込・ホームページに関すること
 株式会社シーエーブイCAV
 〒003-0004 札幌市白石区東札幌4条1丁目2-20 安全ビル5階
 TEL: 011-837-2155 FAX: 011-837-2212
 E-mail: cv@kcav.co.jp 担当: 河上

●宿泊・お弁当に関すること
 名鉄観光
 〒080-0013 帯広市西三条南12丁目6番地 JRイン帯広1階
 TEL: 0155-25-0471 FAX: 0155-21-5010 担当: 関根

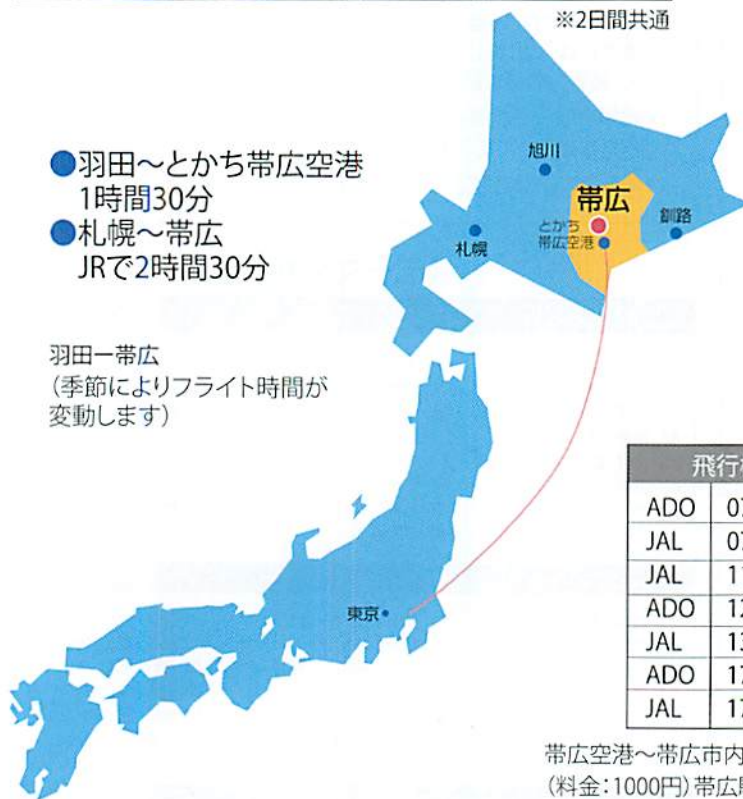
事前参加登録 平成30年5月1日～平成30年7月31日

参加費	事前	当日
研究会会員	3,000円	4,000円
一般	3,000円	4,000円
学生	1,000円	1,000円

※2日間共通

- 羽田～とち帯広空港
1時間30分
- 札幌～帯広
JRで2時間30分

羽田～帯広
(季節によりフライト時間が
変動します)



飛行機	羽田→帯広		
ADO	07:05	→	08:40
JAL	07:55	→	09:30
JAL	11:35	→	13:10
ADO	12:15	→	13:50
JAL	13:35	→	15:10
ADO	17:00	→	18:35
JAL	17:50	→	19:25

帯広空港～帯広市内は便到着約15分後出発
(料金:1000円)帯広駅で下車。

帯広駅周辺 Map



JR	札幌→帯広		
おおぞら	07:00	→	09:26
とち	07:54	→	10:36
おおぞら	08:54	→	11:40
とち	10:24	→	13:10
おおぞら	11:53	→	14:22
おおぞら	14:16	→	17:00
とち	16:08	→	19:00
おおぞら	17:24	→	20:18
とち	18:32	→	21:21
おおぞら	19:40	→	22:20
とち	21:04	→	23:41

主催: 日本ホスピス・在宅ケア研究会 とち大会実行委員会
 共催: 日本財団、帯広市、勇美記念財団
 後援: 北海道

共催: 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団